

野村ブル・ベア セレクト6 (円高豪ドル安トレンド6)

運用報告書(全体版)

第1期(決算日2015年10月5日)

作成対象期間(2014年9月30日～2015年10月5日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/その他資産(通貨)/特殊型(ブル・ベア型)
信託期間	2014年9月30日から2017年10月5日までです。
運用方針	選択権付き為替予約取引を積極的に活用し、日々の基準価額の値動きが円から見た豪ドルの日々の値動きの概ね2倍程度反対となる投資成果を目指して運用を行います。
主な投資対象	円建ての短期公社債等の短期有価証券を主要投資対象とし、選択権付き為替予約取引を利用します。
主な投資制限	株式への投資割合は信託財産の純資産総額の30%以内とします。
分配方針	毎決算時に、原則として利子・配当等収益等を中心に基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			純 資 産 額
		税 分 込 配	み 金 騰 落	中 率	
(設定日)	円	円		%	百万円
2014年9月30日	10,000	—		—	30
1期(2015年10月5日)	11,315	0		13.2	175

*当ファンドは、日々の基準価額の値動きが円から見た豪ドルの日々の値動きの概ね2倍程度反対となることを目指して運用を行うため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(設定日)	円		%
2014年9月30日	10,000		—
10月末	9,545		△ 4.6
11月末	8,927		△10.7
12月末	9,317		△ 6.8
2015年1月末	10,426		4.3
2月末	10,044		0.4
3月末	10,255		2.6
4月末	9,529		△ 4.7
5月末	9,427		△ 5.7
6月末	9,553		△ 4.5
7月末	10,192		1.9
8月末	11,011		10.1
9月末	11,542		15.4
(期 末)			
2015年10月5日	11,315		13.2

*騰落率は設定日比です。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

期 末：11,315円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 13.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

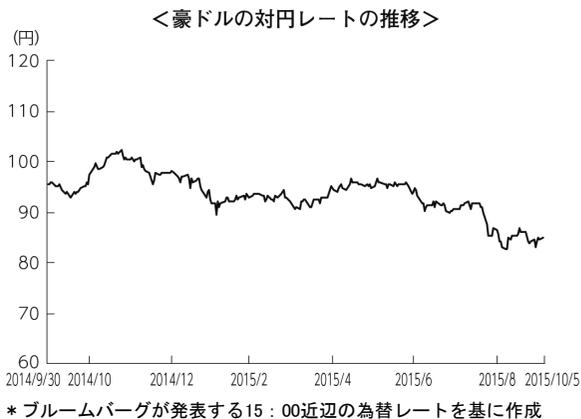
○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時10,000円から期末11,315円に1,315円の値上がりとなりました。

商品相場の下落やオーストラリア準備銀行による利下げを受けて豪ドルが対円で下落(円高)し、基準価額は上昇しました。

○投資環境

堅調な豪州経済や2014年10月末からは日銀が追加金融緩和を決定したことなどから豪ドルが対円で上昇（円安）しました。12月以降は商品相場の下落やオーストラリア準備銀行による利下げを受けて豪ドルが対円で下落（円高）しました。



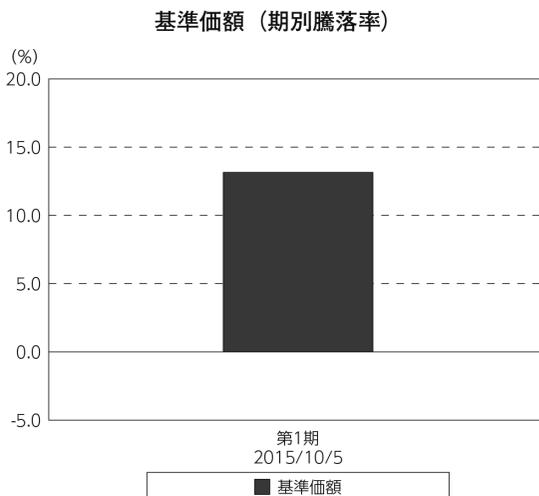
○当ファンドのポートフォリオ

国内の短期公社債を組み入れると共に、選択権付き為替予約取引を活用し、純資産総額に対する実質的な為替予約額の比率を200%程度に維持してまいりました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、日々の基準価額の値動きが円から見た豪ドルの日々の値動きの概ね2倍程度反対となることを目指して運用を行うため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

経費控除後の利子・配当等収益や基準価額水準を勘案し、今期の収益分配は見送らせていただきました。

留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1口当たり・税込み)

項 目	第1期
	2014年9月30日～ 2015年10月5日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,314

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

今後も当ファンドの商品性格に沿った投資成果をめざす運用を行って参ります。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1口当たりの費用明細

(2014年9月30日～2015年10月5日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 112	% 1.120	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(41)	(0.406)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(66)	(0.659)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(5)	(0.055)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	112	1.122	
期中の平均基準価額は、9,982円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 各比率は1口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2014年9月30日～2015年10月5日)

公 社 債	
-------	--

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 21,020,801	千円 20,890,819

* 金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

* 単位未満は切り捨て。

○派生商品の取引状況等

(2014年9月30日～2015年10月5日)

オプションの銘柄別取引・残高状況

銘柄別	コール・ プット別	買 建				売 建				当期 買建額	期末 売建額	評価 損益
		新 買付額	規 決済額	権 行	利 使	新 売付額	規 決済額	権 被行使	利 消滅			
国内	通貨オプション取引 ホスト別7銘柄	百万円 -	百万円 -	百万円 -	百万円 -	百万円 910	百万円 904	百万円 -	百万円 0.732112	百万円 -	百万円 4	百万円 -
		910	911	-	2	-	-	-	-	4	-	-

*単位未満は切り捨て。ただし、金額が単位未満の場合は小数で記載。

○利害関係人との取引状況等

(2014年9月30日～2015年10月5日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2014年9月30日～2015年10月5日)

設定時残高 (元 本)	当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 (元 本)	取引の理由
百万円 30	百万円 -	百万円 -	百万円 30	当初設定時における取得

○特定資産の価格等の調査

当ファンドにおいて行った取引のうち、投資信託及び投資法人に関する法律により価格等の調査が必要とされた資産の取引については、新日本有限責任監査法人へその調査を委託しました。対象期間中（平成26年9月30日～平成27年9月24日）に該当した取引は、オプション取引（為替店頭オプション取引）が962件あり、当該取引については当該監査法人からの調査報告書を受領しました。

なお、オプション取引（為替店頭オプション取引）については、通貨の種類、プット又はコールの別、数量その他の当該オプション取引（為替店頭オプション取引）の内容に関することについて調査を委託しました。

○組入資産の明細

(2015年10月5日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	130,000	130,004	74.1	—	—	—	74.1
	(130,000)	(130,004)	(74.1)	(—)	(—)	(—)	(74.1)
合 計	130,000	130,004	74.1	—	—	—	74.1
	(130,000)	(130,004)	(74.1)	(—)	(—)	(—)	(74.1)

* () 内は非上場債で内書きです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* ー印は組み入れなし。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

* 残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	%	千円	千円		
国庫短期証券 第547回※	—	50,000	50,000	—	
国庫短期証券 第561回※	—	80,000	80,004	—	
合 計		130,000	130,004		

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

* ※印は現先で保有している債券です。

○投資信託財産の構成

(2015年10月5日現在)

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率		
	千円	%		
公社債	130,004	60.1		
コール・ローン等、その他	86,436	39.9		
投資信託財産総額	216,440	100.0		

* 金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年10月5日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	216,440,124
コール・ローン等	49,751,179
公社債(評価額)	130,004,850
ブット・オプション(買)	4,901,608
未収入金	31,782,399
未収利息	88
(B) 負債	41,004,550
コール・オプション(売)	4,901,608
未払金	35,282,155
未払信託報酬	819,251
その他未払費用	1,536
(C) 純資産総額(A-B)	175,435,574
元本	155,050,000
次期繰越損益金	20,385,574
(D) 受益権総口数	15,505口
1口当たり基準価額(C/D)	11,315円

(注) 期首元本額30百万円、期中追加設定元本額592百万円、期中一部解約元本額467百万円、計算口数当たり純資産額11,315円。

○損益の状況 (2014年9月30日～2015年10月5日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	21,117
受取利息	21,117
(B) 先物取引等取引損益	5,951,080
取引益	169,331,853
取引損	△163,380,773
(C) 信託報酬等	△ 1,351,309
(D) 当期損益金(A+B+C)	4,620,888
(E) 追加信託差損益金	15,764,686
(配当等相当額)	(62,946)
(売買損益相当額)	(15,701,740)
(F) 計(D+E)	20,385,574
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	20,385,574
追加信託差損益金	15,764,686
(配当等相当額)	(62,946)
(売買損益相当額)	(15,701,740)
分配準備積立金	4,620,888

* 損益の状況の中で(B)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2014年9月30日～2015年10月5日)は以下の通りです。

項 目	第1期
	2014年9月30日～ 2015年10月5日
a. 配当等収益(経費控除後)	16,387円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	4,604,501円
c. 信託約款に定める収益調整金	15,764,686円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	20,385,574円
f. 分配対象収益(1口当たり)	1,314円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1口当たり)	0円

○分配金のお知らせ

1口当たり分配金(税込み)	0円
---------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

○お知らせ

- ①運用報告書(全体版)について電磁的方法により提供する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日:2014年12月1日>
- ②書面決議の要件緩和等に関する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日:2014年12月1日>
- ③書面決議に反対した受益者が受託者に対して行う受益権の買取請求を不適用とする所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日:2014年12月1日>
- ④デリバティブ取引等に係る投資制限に関する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日:2015年6月19日>
- ⑤有価証券の指図範囲に新投資口予約権証券を加える所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日:2015年8月3日>

<お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

(2015年10月5日現在)

年 月	ファンド名	[米国株スーパーブル6] [米国株スーパーベア6] [米国国債4倍ブル6] [米国国債4倍ベア6]
2015年10月		9
11月		2、20、26
12月		22、25、30

※2015年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご注意ください。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。